



# ほけんだより 12月

令和5年12月22日(金)

みそらこども園



ようれんきんかんせんしょう

## 溶連菌感染症が全国的に増えています

ようれんきんかんせんしょう

溶連菌感染症とは？

ようけつせいれんききゅうきん

溶血性連鎖球菌に感染する事で、

熱や喉の痛みなどの症状がでます。

でんせんせい

伝染性

のうかしん

膿痂疹(とびひ)

ようけつせいれんききゅうきん

溶血性連鎖球菌の感染で起こります。

へんとうえん

扁桃炎(喉の痛み)の症状として、喉の

腫れや化膿、リンパ節炎の症状を起こすことがあります。舌が莓状に赤く腫れ(莓舌)、全身に鮮紅色の発疹がでます。また発疹が治まった後、指の皮がむけることがあります。

治療としては、抗菌薬が処方されます。抗菌薬

をきちんと内服しないと、リウマチ熱や腎炎

髄膜炎などの合併症を起こすことがあります。



潜伏期間は2~5日。伝染性膿痂疹(とびひ)は7~10日。

★登園の目安は、「抗菌薬の内服後24~48時間経過していること」です。保護者の方が記入する

登園届の提出が必要です

11月号に続き、脳の発達・脳育てについて考えていきます。

「からだの脳」育ての時期には、「からだの脳」に基地を持つ原始的な3つの神経伝達物質「ドーパミン・セロトニン・ノルアドレナリン」の分泌を促進することも重要です。それをすることで生きるための力の土台を作ります。(補足)ドーパミン・快感・喜びなどの感情に関する物質ノルアドレナリン・怒り不安、恐怖といった不快な感情に関する物質、人間にとっていらない物質ではないかと思われるが、外部からの危険やストレスから瞬時に身を守る役目があるセロトニン・精神の安定に関わる物質、ドーパミンとノルアドレナリンの暴走を抑える働きがある)。この三大神経伝達物質は、生まれてから5歳までにしっかりと分泌されることが大事です。脳にしっかりと良い刺激を与えておくと、高度な神経ネットワークが形成され、最終的に「こころの脳」育ての時代になると、ストレスに強く論理的思考や抑制機能が高い脳になるのです。では、この原始人の脳を作るうえで一番カギになるのは何か。それは現代社会では「年齢相応の十分な睡眠時間」ということになります。講演会などで話をすると、皆さん「え？うちのこちゃんと寝てますけど」とおっしゃいます。実はこの「ちゃんと」が曲者なのです。

『高学歴親という病』成田奈緒子 過干渉溺愛に潜むリスク 講談社+α新書~1月号へ続く